



国土交通省二地域居住先導的プロジェクト実装事業

「先進事例を学び、和歌山市の観光の未来を考える」

2025 **10/17** (金) 13:30～ 受付開始13:00

**入場
無料**

(事前申し込み)

場 所

和歌山市勤労者総合センター6階文化ホール

〒640-8227 和歌山市西汀丁34番地 市役所西隣

定 員 120名

対象者

地元住民の方、観光事業者、自治体、教育関係者、
地方創生に興味のある方など

主 催

二地域居住等促進空家活用和歌山モデル事業コンソーシアム

コンソーシアム参加団体: (株)和み、(株)百戦錬磨、(一社)日本ファームステイ協会、
大阪観光大学、(一社)観光立国プラットフォーム、和歌山県、和歌山市

後 援

和歌山県観光連盟、和歌山市観光協会、和歌山市教育委員会、
全国旅行業協会和歌山県支部

WEBからの
申し込みはこちら



schedule

1 | 開会の案内

2 | 来賓あいさつ 鶴保庸介 氏 (参議院議員、二地域居住推進議員連盟会長)

3 | プログラム1

和歌山市の二地域居住先導的プロジェクト実装事業「猫と暮らす
貴志川線レジデンス開発に向けた調査・検討事業」進捗報告
永田 大樹 (株式会社和み)

4 | プログラム2

先進事例紹介その1 静岡県下田市(南伊豆エリア)の取組み
「二地域居住の促進に向けた官民連携によるモデル」
近藤 ナオ氏 (一社)次世代政策デザイン研究所 理事

5 | プログラム3

先進事例紹介その2 宮城県東松島市の取組み
「KIBOTCHAスマートエコビレッジ」
三井 紀代子氏 DAO合同会社 代表社員 貴凛庁 代表取締役

<休憩>

6 | プログラム4

パネルディスカッション
登壇者: 鶴保庸介氏、近藤ナオ氏、三井紀代子氏、
古田高士 (株式会社和み)
進行: 小野田金司

7 | 閉会の挨拶

8 | 交流会 (名刺交換会) 17時終了予定

申込先



大阪観光大学特務プロジェクト室

〒590-0493 大阪府泉南郡熊取町大久保南5-3-1 受付時間 / 9:00～17:00 (土曜・日曜・祝日は休み)

☎072-453-8222

二地域居住の先進事例を学ぶ

地方創生の切り札として注目を集める「二地域居住」。都市と地方をつなぐ新しい暮らし方は、人口減少が進む地域に活力をもたらし、観光や交流の拡大を通じて持続可能な地域社会づくりに寄与します。本セミナーでは、国土交通省の二地域居住先導的プロジェクト実装事業に採択された和歌山市の取組を中心に、観光の未来を見据えた議論を展開します。和歌山市における「猫と暮らす貴志川線レジデンス開発」に向けた調査報告を紹介するとともに、静岡県下田市や宮城県東松島市で展開されている先進事例を学びます。下田市は伊豆半島の南端という過疎地域でありながら、官民連携モデルを構築し二地域居住の新しい町づくりモデルを推進しています。東松島市のKIBOTCHAは、廃校を再生して防災と観光の拠点とするスマートエコビレッジ構想の取組を紹介し、さらに、専門家や実践者を迎えたパネルディスカッションを通じて、二地域居住と観光開発を両輪とした新たな地域づくりの可能性を探ります。地元住民や観光事業者はもちろん、自治体や教育関係者、地方創生に関心をお持ちの方々にとって、多彩な知見と交流の機会となる本セミナーにぜひご参加ください。

登壇者プロフィール

鶴保 庸介 氏

参議院議員
二地域居住推進議員連盟会長



1967年生まれ。大阪府立天王寺高校、東京大学法学部卒。国際政治学者の若泉敬氏に師事、政治家を志す。代議士秘書を経て、1998年7月第18回参議院選挙にて初当選（当時、選挙区史上最年少当選）、2004年再選、2010年三選、2016年四選、2017年に内閣府特命担当大臣、2022年五選、2024年観光立国調査会会長、2025年参議院予算委員長、今回のテーマ二地域居住推進事業議員連盟会長。

古田 高士 氏

株式会社和み 代表取締役



大手不動産鑑定業者で海外を含む多数の不動産の鑑定評価を経験の後、香港のファンドであるPAG、三菱商事のファンドであるDREAMにて、総額4000億円程度の不動産投資を実行。その後、デロイト・トーマツにて、不動産M&A、不動産を活用した地域創生等の分野を担う。2019年に和歌山にUターンし、株式会社和みを設立し、今後、自身が経験した不動産証券化の分野で地方創生と事業拡大を目指す。

三井 紀代子 氏

DAO合同会社 代表社員
貴凛庁 代表取締役



航空自衛隊を退任後、23歳で起業、会社を1000人規模へ成長させた後にM&Aで売却。IT広告会社などを経営しながら子育ても両立。東日本大震災を機に自衛隊OBと被災地支援を開始し、宮城県東松島市で廃校を活用した防災教育施設「KIBOTCHA」を設立。復興を基盤とした地域活性化に取り組み、宮城県より観光功労者賞を受賞。

永田 大樹 氏

株式会社和み マネージャー



紀の川市在住、建築設計デザイナーを経て、都市計画コンサルタント、不動産ベンチャー企業を経て、2024年に和みにジョイン。全国で空き家活用プロデュースや自治体・都市再生機構との事業者育成プログラムなどを経験し、2023年に地域活性化起業人として神奈川県鎌倉市と紀の川市の二拠点居住で粉河寺門前町の活性化に従事。空き旅館の活用を実施。不動産ファンドを活用した空き家再生に取り組んでいる。

近藤 ナオ 氏

(一社)次世代政策デザイン研究所 理事



「シブヤ大学」や「宮下パーク」のプランニングなど、地域活性化プロジェクトに参画。人と人がつながるユニークな場づくりや実験的な取り組みを数多く手掛けている。多地域生活という言葉が登場する前から複数拠点におけるコミュニティ暮らしを実践し、「拡張家族」というコンセプトを掲げて、新築マンションのワンフロア19部屋を39世帯でシェアするような実験的な活動も行ってきた。現在、3カ国5拠点暮らしを実践。日本（下田市、東松島市、東京）、オランダ、タンザニア。

小野田 金司 氏

大阪観光大学 特任教授
一般社団法人観光立国プラットフォーム 理事長



和歌山市在住、近畿日本ツーリストで22年勤務後、ベンチャー企業を経て2007年大学教授に就任。2013年より文科省、観光庁の観光人材育成事業を全国各地で展開。2019年より現職、同年より5年間十和田奥入瀬観光機構（日本版DMO）理事長も経験。2024年より（一社）観光立国プラットフォーム理事長、高校生の観光コンテスト「観光甲子園」の主催団体の代表理事も兼務。43年間ロックバンドのボーカルも担当している。